

### 3 対策の効果

中長期計画(20~30年程度)のハード対策整備により、平成29年10月(台風第21号)洪水(年超過確率<sup>※1</sup>1/100を超える規模)に対して、床上浸水を解消します。

※1 年超過確率1/●●：毎年、1年間にその規模を超える現象が発生する確率が1/●●であることをいう。本計画では、高潮と洪水が同時に発生した場合の確率を示している。



短期計画(5年程度)では、勢田川からの氾濫の防止、松尾川からの氾濫による被害の軽減を図るための対策を集中的に実施します。

- ※2 現在の施設で平成29年10月(台風第21号)洪水が再来した状況をシミュレーションにより再現したものです。
- ※3 中長期計画に基づく対策の実施後の施設で、平成29年10月(台風第21号)洪水が再来した場合をシミュレーションにより再現したものです。中長期計画整備後に50cm以上の浸水が一部ありますが、床上浸水は発生しません。なお、勢田川排水機場の排水量は60m<sup>3</sup>/sとして試算したものであり、今後の検討により、変更となる場合があります。

### 4 効果的な浸水被害軽減対策の実現に向けて

「勢田川流域等浸水対策実行計画」に基づき、勢田川、松尾川における浸水被害の軽減を図るため、関係各機関はこの計画に基づいて進捗管理を行うとともに、実施過程においては随時確認を行い、必要に応じて計画を見直し、効果的かつ効果的な浸水被害軽減を目指します。

### 5 汁谷川の取組状況と今後に向けて

汁谷川流域は、平成29年10月(台風第21号)洪水で、勢田川・松尾川流域と同じく浸水被害を受けました。河川整備計画を検討中の河川であり、浸水対策実行計画策定にあたり引き続き協議会で検討していきます。

- 河川整備  
河川整備計画を策定し、河川整備を進めます。また、河川水位を上げるために、堆積土砂の撤去を実施します。
- 排水機場の浸水対策  
汁谷川排水機場の耐水化を検討し、対応可能な対策を実施します。



汁谷川排水機場

### 勢田川流域等浸水対策協議会

(伊勢市・三重県・国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所)

お問い合わせ先



■住所 〒516-8601  
三重県伊勢市岩洲1丁目7番29号  
■TEL 0596-21-5580  
■FAX 0596-21-5585  
■ホームページ  
<http://www.city.ise.mie.jp/>



■住所 〒514-8570  
三重県津市広明町13番地  
■TEL 059-224-3070  
■FAX 059-224-2125  
■ホームページ  
<http://www.pref.mie.lg.jp/>



国土交通省 中部地方整備局  
三重河川国道事務所  
■住所 〒514-8502  
三重県津市広明町297  
■TEL 059-229-2211  
■FAX 059-229-2229  
■ホームページ  
<http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>

## ハード・ソフト対策の一体的な取組みによる 効果的な浸水被害軽減対策の推進

# 勢田川流域等浸水対策実行計画

●勢田川流域等浸水対策協議会

### 1 勢田川流域の現状と課題

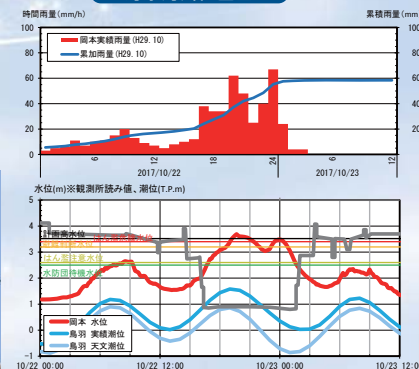
平成29年10月(台風第21号)洪水では、宮川下流域で年間降水量の約1/4~1/3の雨量を記録し、勢田川流域で甚大な被害が発生した昭和49年7月洪水(七夕豪雨)の累積雨量496mmを大幅に上回る累積雨量584mm(観測史上最大の累積雨量)となりました。

伊勢市内では満潮と台風による高潮・大雨のピークがほぼ同時に発生した影響もあり、雨水排水不良による浸水に加えて、勢田川・松尾川・汁谷川の河川からの氾濫も生じ、広範囲で浸水被害が発生しました。

このように、これまでに経験したことがない大雨に対して、ハード対策により被害を完全に防ぐことは困難であります。できる限り被害を最小化するための対策を伊勢市・三重県・国の三者が連携して、短期・中長期の計画に基づき対策を重点的に実施していくとともに、ソフト対策として地域住民が参加する防災訓練等の防災啓発活動や防災教育により、住民の防災意識の向上を図る取り組みを推進し、安全・安心なまちづくりを進めます。



対象河川位置図



累積雨量と岡本観測所水位



平成29年10月【台風第21号】洪水による浸水区域(伊勢市調べ)

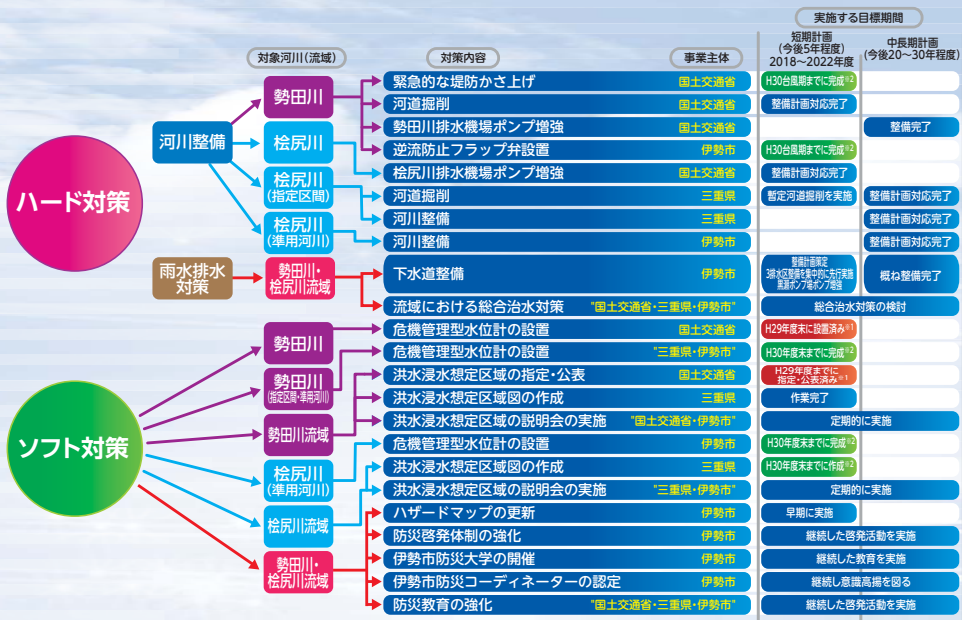


浸水被害状況  
(伊勢神宮外宮参道)

## 2 浸水被害軽減対策

浸水被害軽減のため、勢田川、桧尻川流域の河川整備や下水道整備等の考えられる浸水対策を検討し、整備や施策の早期効果の発現や実現性(実施可能時期)等を考慮し、短期・中長期の計画に基づき、関係機関(伊勢市、三重県、国土交通省)が連携してハード・ソフト対策を一体的に取り組みます。

### (1) 浸水被害軽減対策のメニュー



### (2) 主なハード対策

#### 緊急的な堤防かさ上げ

勢田川では、平成29年10月(台風第21号)洪水で河川からの氾濫が発生したJR参宮線勢田橋梁部付近と北新橋右岸下流(平成30年6月完成済)において、緊急的に堤防かさ上げを実施します。



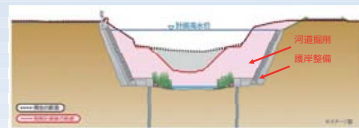
特殊堤防設置イメージ (JR参宮線勢田橋梁部付近)



特殊堤防設置状況 (北新橋右岸下流)

#### 河道掘削

勢田川・桧尻川では、河川の水位を下げるために、河道断面を増やす掘削を実施します。



河道掘削イメージ (桧尻川)

#### 排水機場ポンプ増強

家屋浸水被害の防止のため、下水道整備等と事業調整を図り、桧尻川排水機場ポンプ、勢田川排水機場ポンプの増強を実施します。



桧尻川排水機場ポンプ増強

#### 逆流防止フラップ弁設置

勢田川からの逆流による浸水を防ぐために、排水管等の逆流防止フラップ弁設置を行います。



逆流防止フラップ弁設置予定の排水管

#### 下水道整備

雨水排水不良による浸水を防ぐために、優先度の高い地域から雨水ポンプの増強や雨水排水路の整備を実施します。

#### 流域における総合治水対策

河川整備や下水道整備等に加え、各流域の流出抑制に向けた保水機能・遊水機能を確保する対策を検討します。

### (3) 主なソフト対策

#### 危機管理型水位計の設置

河川水位情報をリアルタイムに把握でき、避難準備等に活用できるように危機管理型水位計を設置します(国は勢田川に平成29年度末に設置済)。また、危機管理型水位計運用システムにより、水位情報の提供を行います。



危機管理型水位計

#### 洪水浸水想定区域の説明会の実施

洪水浸水想定区域の説明会およびワークショップを開催し、住民自らの的確な避難判断につなげます。



洪水浸水想定区域説明会の様子

#### ハザードマップの更新

指定区間(県)の洪水浸水想定区域図を作成し、ハザードマップの更新を行います。

#### 伊勢市防災大学の開催

伊勢市防災大学を開催し、市民の防災知識を深め、防災に対する意識高揚を図ります。



伊勢市防災大学の開催の様子

#### 伊勢市防災コーディネーターの認定

防災士の資格を持つ市民が伊勢市防災コーディネーターとして、地域の防災講習会やワークショップのスタッフとして参加し、防災意識の高揚に向け、今後も継続して実施します。



防災コーディネーターが講師を務める様子

#### 防災啓発体制、防災教育の強化

防災マネージャー及び防災アドバイザーの体制で、自治会やまちづくり協議会における防災講習・訓練を実施します。防災教育では、国土交通省、気象庁、京都大学、まちづくり協議会などが連携して、講習会やワークショップを開催します。